

平成23年12月15日  
重水素実験安全評価委員会  
第8回 資料4-1

# 東日本大震災を受けて再検討した 大型ヘリカル装置における重水素実験の 安全管理計画(案)

## 1. 大型ヘリカル装置計画の現状

自然科学研究機構  
核融合科学研究所



## 今回の委員会の目的

---

3.11東日本大震災を教訓に、重水素実験の安全管理計画を再検討し、必要な見直しを行うとともに、計画の一層の充実を図る

## 発表目次

---

1. 大型ヘリカル装置計画の現状
2. 従来 of 安全管理計画概要
3. 再検討した安全管理計画(案)
4. 管理区域の設定について



# 大型ヘリカル装置計画の現状

## プラズマパラメータ 達成値

プラズマ性能	LHD達成値	LHD最終目標値	核融合条件の目安
イオン温度	8,000万度 (密度15兆個/cc)	1億2,000万度 (密度20兆個/cc)	1億2,000万度  100兆個/cc  5% (磁場5テスラ)  定常(1年)
電子温度	2億3,000万度 (密度2兆個/cc)	1億2,000度 (密度20兆個/cc)	
密度	1,200兆個/cc (温度300万度)	400兆個/cc (1,500万度)	
ベータ値 (プラズマ圧力/ 磁場圧力)	5.1% (磁場0.425テスラ) 3.4% (磁場1テスラ)	5% (磁場1-2テスラ)	
定常運転	54分28秒 (500kW) 13分20秒 (1,000kW)	1時間(3,000kW)	



# 進捗状況

